

**(仮称)サステナブルシティを目指した  
環境学習施設展示改修等  
方向性**

# なぜ3施設の連携が重要なのか

WHY

## 3館が一体不可分で連携し『北九州市のサステナブルシティを体現』

**メイン  
ターゲット**  
ビジネス層  
(企業のサス  
テナ担当等)  
**(toB)**

### エコタウンセンター (リアル)

- ・ CN/CEをリアルに体験できる
- ・ 動静脈連携等のマッチングを通じたビジネス推進拠点

### 響灘ビオトープ (リアル)

- ・ NPのリアルな活動の場
- ・ 自然とのふれあい、魅力発信
- ・ 企業支援、NPセンターの中核

**メイン  
ターゲット**  
一般客から  
専門層  
**(toB、toC)**

### 付加価値①

CN・CE・NPを、  
一体的に学ぶことができる

### 付加価値②

子どもからビジネスマンまで、  
ターゲットに応じた「リアル」を  
見せることができる

### 付加価値③

理論としての意味合いや、実際の  
体験を融合し、理解を深めることが  
できる

### 付加価値④

実体を見ることで、関心が高まり  
具体的な行動につながる

### 付加価値⑤

世界へ向けて、サステナブル  
シティとしての都市ブランドを  
発信することができる

### メインターゲット

一般市民(ファミリー  
層・子ども、若者など)  
個人としてのビジネス  
パーソン **(toC)**

### 【東田地区】環境ミュージアム (知る・学ぶ)

- ・ 公害克服を起点に、現在まで続くまちの成長・変遷を、  
サステナブルな歴史として、公害克服の地である東田から発信
- ・ 市民の環境活動拠点としての機能

## 【響灘地区】CE/CN/NPのリアルを体験



## 【東田地区】北九州市の歴史から サステナビリティの本質を学ぶ

北九州市のサステナを体現する  
3つの異なる施設を有する強み  
を活かし、

### ■市民、企業、団体等の学びや 活動の推進

- ・ イベントの会場
- ・ 学校訪問 (環境学習)
- ・ 大学等のフィールドワーク

### ■国内外に発信することで、 人の呼び込み

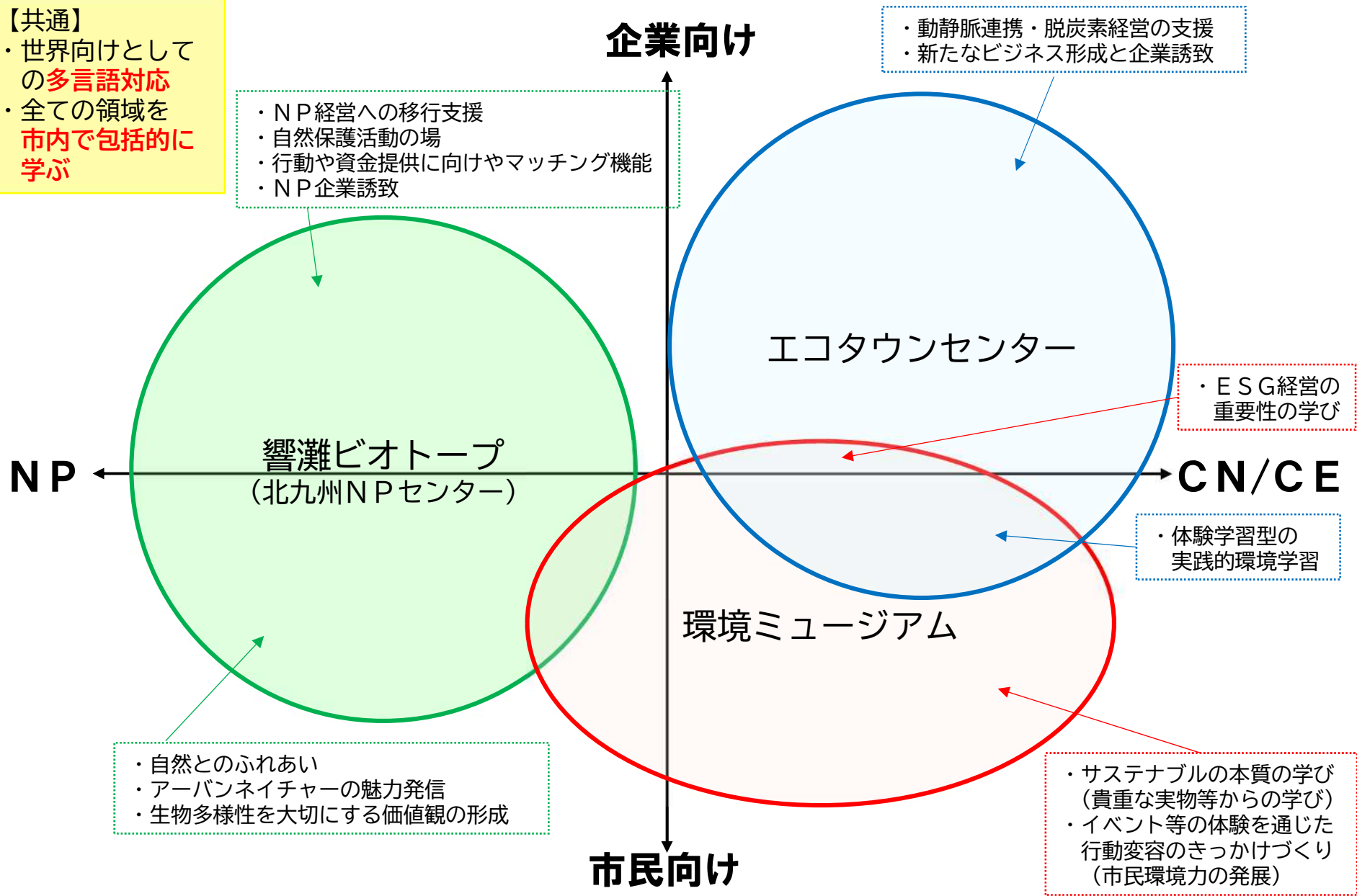
- ・ JICA研修
- ・ 観光業誘致 (インバウンドや  
修学旅行を含む)

### ■ビジネスの推進

- ・ 企業誘致

など、3施設の連携により、  
場のポテンシャルを最大限発揮し、  
国内外の様々なチャンネル  
から、人や企業の呼び込みにつ  
なげる

**【共通】**  
 ・世界向けとしての**多言語対応**  
 ・全ての領域を**市内で包括的に学ぶ**



3施設が連携し、相互に補完することで、CN・CE・NPの各分野の幅広いターゲットに対応可能

どのような施設にしたいか

- あらゆる世代の来場者が、**サステナブルの本質**（環境と経済の両立・好循環に向けた努力の継続）、**日常的な環境配慮行動の重要性**をともに学び、**行動変容のきっかけづくり**を担う**環境学習の総合拠点施設**
- **市民・企業・行政が一体となり公害を克服した経験**を礎に、**時代を先取りした環境施策を展開**し、国内外から高い評価を得ていることを発信し、**シビックプライドの醸成や都市のプレゼンス向上**につなげる施設

		果たすべき役割 (市民・企業等に伝えたいこと)	具体的方策
市民	一般市民 (ファミリー層)  学校訪問 (小中学校)  大学 (フィールドワーク)  修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地球規模での環境課題への理解と自分ごと化</li> <li>■ 北九州市の取組を通じたサステナブルの本質の学び</li> <li>■ 「身近な行動が環境を変える」ことへの気付きとその重要性の理解</li> <li>■ 行動変容によるメリットの見える化と日常生活での実践の後押し</li> <li>■ シビックプライドの醸成</li> <li>■ 他の環境学習施設（エコタウンやビオトープ）の役割も含め、環境施策の概要を学べる入口の機能</li> </ul>	【展示改修】 ・前半部分は現展示を活用。後半部分は公害克服後～現在の取組を、映像等も活用し、CN/CE/NP/市民環境力を柱に改修 【プログラム作成】 ・展示見学後に <b>行動変容に繋がる工作体験</b> （主に小学生） ・ガイドによる一連の展示解説後、 <b>サステナブルを深掘りする意見交換やワークショップ</b> を開催（探求学習にも対応） ・環境学習の総合拠点機能として、公害克服の歴史、現在、未来に至る本市の <b>環境の取組を体感できる1日ツアー</b> （エコタウンセンター、ビオトープ、その他関連施設との連携） ・ <b>遠隔授業</b> （修学旅行の事前・事後学習のニーズに対応：実績あり） ・複数回にシリーズ化した <b>ガイド付き学習プログラム</b> の提供（地元高校生の探求学習を想定）
	海外要人  JICA研修生  企業・大学 インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市の歴史やこれまでの取組等を通じて北九州市を知ってもらう</li> <li>■ 各国が直面する課題への対応方法の学び</li> <li>■ 環境学習のノウハウへの理解度向上</li> <li>■ 都市プレゼンスの向上</li> </ul>	【展示改修】 ・QRコードから視聴できる各ゾーンの <b>動画解説に字幕を設置</b> （既にある漫画解説は外国語対応だが内容が不十分） ・翻訳アプリに対応した環境整備（free Wi-Fi環境） 【プログラム作成】 ・一連の展示解説後、北九州市の取組から <b>自国に活用できるものについてのディスカッション、ワークショップ</b> ・ <b>インバウンド向け日本の近代化歴史・環境ツアー</b> の開催（テーマ：世界遺産・明治日本の産業革命、公害）

どのような施設にしたいか

- 事業紹介および見学（リアル体験）を軸に、ビジネス層をターゲットとして、本市の環境・エネルギー産業の推進に貢献する施設
- 具体的手法として、「最新情報を多言語で発信」することによる企業PRと、動静脈連携等の企業マッチングによる、エコタウン企業の事業拡大や新ビジネスの創出を通じた企業誘致等、稼げるまちを体現する施設

		果たすべき役割 (市民・企業等に伝えたいこと)	具体的方策
企業	リサイクル業 製造業等 環境・エネルギー関連業 研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 北九州市の環境・エネルギー産業の紹介                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エコタウン企業をはじめとした、本市が有する様々な環境・エネルギー産業に関する情報発信</li> </ul> </li> <li>■ 環境経営推進の後押し                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 脱炭素やサステナブル等の視点から、ESD経営の推進に係る啓発の実施</li> </ul> </li> <li>■ 動静脈連携等に向けた企業マッチングの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ エコタウン企業の事業拡大の支援</li> <li>✓ 新ビジネスの創出による企業誘致への貢献</li> </ul> </li> </ul>	<p>【展示改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 従来のパネル展示に加え、デジタル手法の導入によって「多言語対応」、「最新情報への迅速な更新」などを実現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 国内外へ「常に」最新情報を発信</li> </ul> </li> <li>• エコタウン企業の紹介だけでなく、企業の先進的なサーキュラーエコノミーの事例も紹介し、企業サステナ担当にも響くレベルまで内容の高度化を図る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 環境経営推進の啓発</li> </ul> </li> <li>• 企業自らが展示を更新するブースを設け、企業の情報発信の場として活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ 企業とともに「育む展示」</li> </ul> </li> </ul> <p>【プログラム作成】 ※見学ツアー等を活用した企業マッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 展示に加え、企業向けの見学ツアー（リアル体験）やセミナー等を実施</li> <li>• 見学・セミナー後のフォローにより、環境・エネルギー関連企業への個別訪問やエコタウンセンターでの商談等、企業マッチングにつなげる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡ エコタウンセンター内に商談スペースを設置</li> </ul> </li> <li>• 事業化を検討する企業に対して、実証研究エリアの利用を提案。</li> </ul>
	世界	海外要人 JICA研修生 企業・大学 インバウンド	<p>上記に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 理解度の向上を目的としたリアル体験の提供</li> <li>■ 北九州エコタウンが有するリサイクル技術の優位性のPR</li> </ul>

# 施設アップグレードの方向性（響灘ビオトープ）

HOW

どのような  
施設に  
したいか

- ネイチャーポジティブセンターの中核として、自然とのふれあいや魅力発信などを通じて市民の生物多様性の重要性への理解を高め、日常行動の変容や、保全活動への参加など、具体的なアクションにつなげる施設
- 企業へのNP経営に関する理解の促進に加え、活動の場の提供、関係者とのマッチング等を通じて、NP経営の手法・機会を提供し、移行を後押しする施設

		果たすべき役割 (市民・企業等に伝えたいこと)	具体的方策
市 民	一般市民 (ファミリー層) 学校訪問 (小中学校) 大学 (フィールドワーク) 修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネイチャーポジティブの重要性の理解</li> <li>■ アーバンネイチャー北九州の魅力の発信と浸透</li> <li>■ 日常生活で取り組めることの紹介と行動変容の促進</li> <li>■ 自然とのふれあい、体験の場の提供</li> </ul>	<p>【展示改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネイチャーポジティブセンターの中核として、<b>センター全10施設を紹介するパネル、動画等の展示</b>をビオトープ施設内に設置</li> <li>・ 各施設の<b>活動を可視化</b>し、施設間の連携を促進</li> </ul> <p>【プログラム作成】(現在も実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>自然ファンの増加を目指し</b>、通常、立入禁止となる保全エリアで、スタッフや講師と共に、<b>自然とのふれあいや野鳥観察</b>を行うツアー実施</li> </ul>
	企 業	リサイクル業 製造業等 環境・エネルギー関連業 研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネイチャーポジティブ経営の重要性に関する情報発信</li> <li>■ ネイチャーポジティブ経営移行に向けた、プレイヤーのマッチングや具体的な活動の場の提供を通じた、移行の促進・支援</li> </ul>
世 界	海外要人 JICA研修生 企業・大学 インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アーバンネイチャーの魅力発信</li> <li>■ ビオトープの成り立ちも含めたネイチャーポジティブ体现の場、生物多様性保全の場（OECM）としての取組等の発信、紹介</li> </ul>	<p>【展示改修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター全10施設を紹介する<b>動画等の英語版を制作し、海外からの来客時に公開</b></li> </ul> <p>【プログラム作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外からの来客に対応できる体制の整備 (現在、英語対応可能なスタッフが1名在籍)</li> </ul>